



大村市認知症ほっとライン事業について

～認知症の人達ができる限り、住みなれた地域で
自分らしく暮らし続けることができる大村市を目指して～

大村市地域包括支援センター

～認知症ほっとライン事業内容説明次第～

- 1 大村市の現状と認知症ほっとライン事業の必要性や現状報告について説明
- 2 認知症ほっとライン事業への申込方法及び今後の流れについて説明



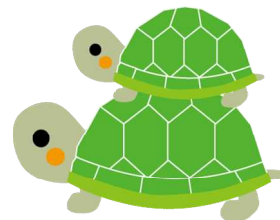


大村市の 概要と認知症施策

大村市の概要

令和4年9月1日現在

	男性	女性	合計
大村市人口 (R4.8.31)	47,097人	51,172人	98,269人
65歳以上	10,773人	14,272人	25,045人
大村市 高齢化率	22.9%	27.9%	25.5%
介護保険 認定者数	4,552人		
長崎県 高齢化率 (R3.10.1)	29.8%	36.5%	33.4%
国の 高齢化率 (R4.9.1)	26.0%	32.0%	29.1%



大村市の認知症対策の対象者

大村市の高齢者数：25,045人

令和4年8月31日現在

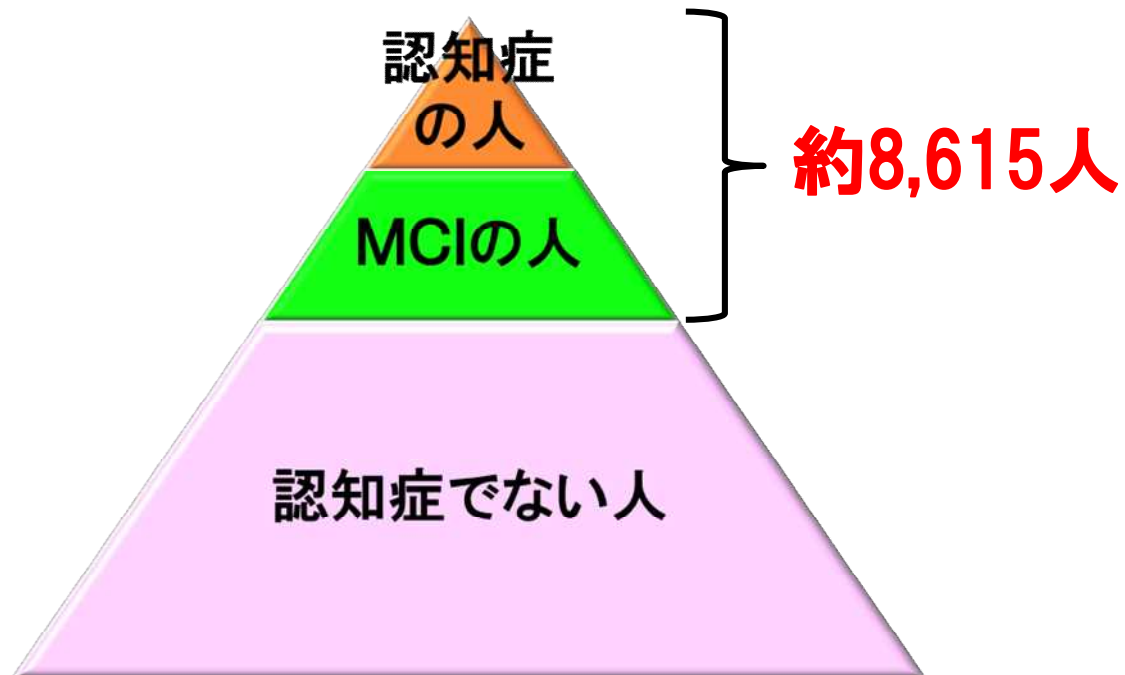
認知症有病者数の推計：4,308人

※国が示す推計率の17.2%で算出

軽度認知障害(MCI)有病者数の推計もほぼ同数

※MCIとは…認知症でない人と認知症の人との中間にあたる(グレーゾーン)段階の人

約8,615人



何らかの見守り支援が必要





大村市における認知症施策の展開

認知症総合相談センター・認知症初期集中支援チーム・認知症ほっとライン設置

相談窓口

認知症ケアパス作成普及啓発・認知症ほっとライン設置

医療介護の案内

認知症支援リーダー養成研修の開催

人材育成

高齢者等の見守りに関する他機関との連携強化

見守り強化

認知症サポーター養成講座の推進

普及啓発

若年性認知症に関する実態把握・相談支援

実態把握



**認知症ほっとライン事業
の内容について**



認知症支援リーダーの動向

令和3年度

認知症基礎講習会
【オンデマンド形式】
市公式YouTube配信
受講のみ(認定資格なし)

平成26年度
～
平成30年度

認知症支援リーダー養成研修(基礎研修)

認知症支援リーダー養成研修(スキルアップ研修)

認定証書交付(認知症支援リーダー誕生)

令和元年度～2年度

認知症ほっとライン事業
※大村中、西大村中学校区

令和元年度

認知症ブラッシュアップ研修

令和3年度～

認知症ほっとライン事業

令和3年度～市全域

令和4年度

認知症支援リーダー養成研修

認定証書交付
(認知症支援リーダー誕生)

令和5年度以降

認知症ブラッシュアップ研修

毎年交互に開催予定

各地域に相談窓口ができました！



市HP QRコード

「各地域に“相談窓口”があれば…」



“地域の認知症に関する最初の相談窓口”

「**認知症ほっとライン事業所**」を設置しました。

- ✓ 困ってしまう前に相談ができる体制ができました。
- ✓ ケア・医療が必要だが、支援の手が届いていない人に対するサポート体制ができました。



※市独自の研修を受講した医療介護の専門職が在籍する事業所に対応依頼

大村市認知症ほっとライン事業所

75事業所

大村市 認知症ほっとライン事業所



あなたや大切な人が…

認知症かもしれないと不安になって
心配だけど、話せずにいるなら…

「認知症ほっとライン」で
ご相談されてみませんか

その人をサポートする
大村市の相談窓口を
ご紹介します。



QRコード

認知症ほっとライン事業所

伊崎脳神経外科・内科	54-4230	東本町
いまみち歯科医院	52-1822	本町
大村市医師会 居宅介護支援事業所	54-0159	本町
岡齒科医院	49-5277	東三城町
うぐいすの丘通所リハビリテーション	54-7199	東大村1丁目
さい歯科矯正歯科クリニック	52-0202	須田ノ木町
居宅介護支援事業うぐいすの丘	54-6464	東大村1丁目
グループホーム慈恵荘・東大村	46-8555	東大村2丁目
たかぎ矯正小児歯科医院	53-0035	東三城町
中澤病院	53-5072	東大村1丁目
村上歯科医院	52-3460	東本町
山下外科医院	54-7122	西三城町
いちのせ歯科医院	54-6633	水田町
グループホームひだまりの家	53-3232	杭出津2丁目
村上歯科医院	52-3460	東本町
もりもと歯科医院	50-1091	木場1丁目
えんど歯科医院	27-3800	久原2丁目
居宅介護支援事業所めぐみ荘	53-3338	中里町
グループホームめぐみ荘	48-5233	西部町
長崎中央調剤薬局	53-9301	久原2丁目
吉原歯科医院	52-9911	岩松町

認知症ほっとライン事業所

うすた記念内科クリニック	48-6886	諏訪1丁目
加島歯科小児歯科医院	52-2809	乾馬場町
居宅介護サービスセンターゆうせんそう	54-6636	諏訪1丁目
居宅介護支援センター箕原荘	20-8800	油田2丁目
グループホーム花みずき・花しょうぶ	50-1322	土庫訪町
秋穂病院	20-7600	諏訪2丁目
こすもすケアセンター	53-9996	西大村本町
貞松歯科医院	20-7808	坂口町
すみ歯科医院	49-5808	土庫訪町
諏訪薬局 スワ店	53-1015	諏訪2丁目
諏訪薬局 薬の平店	52-1028	土庫訪町
デイサービスセンター清泉荘	54-6636	諏訪1丁目
なりすえ歯科医院	54-8080	油田1丁目
まつかわ歯科医院	54-3988	西大村本町
南野歯科クリニック	56-8718	乾馬場町
祐田歯科診療所	54-3138	古町2丁目
養護老人ホーム清泉荘	52-2557	諏訪1丁目
レッツ倶楽部大村	47-5146	杭出津2丁目
わかば薬局	48-5070	油田1丁目

認知症ほっとライン事業所

グループホームかやせの里	51-5029	田下町
グループホームほたる	55-2022	田下町
リハビリセンター大村	55-7811	田下町

認知症ほっとライン事業所

あんしんハウスとみのほら	55-8600	富の原2丁目
本川歯科医院	54-1682	松並2丁目
大村市在宅介護支援センター慈恵荘	28-8600	富の原2丁目
TKM居宅介護支援センター葵	47-5852	富の原1丁目
RA Sole きらら薬局	49-0850	富の原2丁目
グループホームあんのん	50-0066	協和町
グループホームまごころ	53-2081	古賀島町
さくらデンタルクリニック	48-5555	古賀島町
デイサービスセンターキャロット広場	55-5031	富の原2丁目
小規模多機能ホームあんのん	54-8678	協和町
南立天村市長病院	52-2161	古賀島町
地域連携患者支援センター (内線7030)		
デイサービスほのほのハウス	20-8885	松山町
富の原オムズホーム	56-8811	富の原2丁目
とやま歯科医院	55-6255	富の原1丁目
ながむら歯科	50-1718	協和町
ホームヘルプステーション慈恵荘	28-8150	富の原2丁目
枚山医院 居宅介護支援事業所	56-2390	富の原2丁目

認知症ほっとライン事業所

井上歯科医院	55-7462	宮小路1丁目
大石歯科医院	55-8378	竹松本町
介護付有料老人ホームたんぼの丘	55-9909	東野岳町
グループホーム虹	55-6712	黒丸町
グループホームねむの木	55-8605	黒丸町
小規模多機能型居宅介護なごみの郷	56-8181	松原1丁目
デイサービス悠久ひろほ	27-4017	東野岳町
デイサービスレインボー	55-6711	黒丸町
野岳セカンドライフ	55-4143	野岳町
樋口歯科医院	55-5095	竹松本町
樋口整形外科医院	55-8739	竹松本町
花しょうぶ薬局	28-8081	大川田町
マイン歯科クリニック	28-8241	沖田町
またの歯科口腔外科クリニック	55-8261	竹松本町
俣野まさと歯科診療所	27-4433	大川田町
南原歯科医院	55-1120	皆岡町

認知症総合相談体制の構成図

本人・家族

地域住民

町内会・
民生委員

地域の
医療機関

警察署

ケアマネ・
介護事業所

民間事業所

相談

75箇所

認知症

ほっとライン事業所

対応：認知症支援リーダー

認知症あんしん相談
ガイドブック

つなぐ役割

※対応後「受付簿」に記入

相談・情報提供

地域包括支援センター

①地域包括支援センター
総合相談

②認知症総合相談
センター

③認知症初期
集中支援チーム

認知症あんしん相談
ガイドブック

情報提供

※情報提供時、
「情報提供書・同意書」提出

つなぐ役割

連携・協働

本人・家族

住民

民間事業所

町内会・
民生委員

警察署

認知症
専門医

認知症
サポート医

地域の
医療機関

ケアマネ・
介護事業所

認知症ほっとライン事業の業務について

「認知症ほっとライン事業 事務マニュアル」
をご覧ください。

- | | |
|----------------|-------|
| 1 事前準備について | P1 |
| 2 相談について | P2～P3 |
| 3 実績報告について | P4 |
| 4 アンケートの実施について | P5 |



1 事前準備について

(1) 事業所に卓上のぼり旗の設置及びポスターの掲示をお願いします。

- ✓ 外部の方が来所された際、見やすいところに 掲示をお願いします。
- ✓ 可能な範囲で相談スペースの確保をお願いします。



(2) 「認知症ほっとライン事業所」と「大村市地域包括支援センター」との情報交換を行う準備として

① 「大村市地域包括支援センター」の FAX 番号の登録をお願いします。
(誤発信防止)

- ✓ 認知症ほっとライン事業所から大村市地域包括支援センターに情報提供
する際に使用します。

大村市地域包括支援センター
FAX : 0957-53-8348



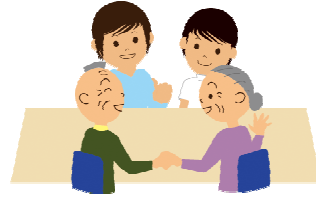
② 「大村市地域包括支援センター」の メールアドレスの登録をお願いします。
(誤送信防止)

- ✓ 様式1「大村市認知症ほっとライン相談簿」のデータを送る際に使用します。
(期間中 1 回)

大村市地域包括支援センター
E-mail : ninchishou@city.omura.nagasaki.jp



2 相談について



(1) 相談を受けます。

✓「認知症あんしん相談ガイドブック」や「認知症のパフレット」等を用いながら、
情報提供やアドバイスをしていただきます。

→ 状況に応じて“つなぐ”役割をお願いします。



2) 様式1「大村市認知症ほっとライン受付簿」に入力します。(様式1参照)

〔注〕様式1「大村市認知症ほっとライン受付簿」のデータ(空データ)は、事前に指定されたアドレスへお送りします。

✓Excel で作成しています。ドロップダウン(▼)のところは、該当するところを選択してください。

様式1 大村市認知症ほっとライン受付簿									
令和3年度							事業所名【 】		
No.	受付日	年代	性別	対象者との関係	その他の内容	受付形態	受付内容	事業所対応	包括への情報提供
1	/						()		
2	/						()		
3	/						()		
4	/						()		
5	/						()		
6	/						()		
7	/						()		
8	/						()		
9	/						()		
10	/						()		

(3) 「大村市地域包括支援センター」につなぐ必要がある場合は、様式2「認知症ほっとライン情報提供書・同意書」に記入し、相談者からの同意のサインを得た上で、「大村市地域包括支援センター」に FAXにて送信をお願いします。

※同意のサインが難しい場合は、口頭で同意を得ていただき、様式2「大村市認知症ほっとライン情報提供書・同意書」にその旨を記載してください。

① 事前に電話連絡をお願いします。

電話の際は、「認知症ほっとライン事業所〇〇〇の△△です。」とお伝えください。
 ※原本は後日提出ください。



大村市地域包括支援センター
 TEL : 0957-53-8141

認知症ほっとライン情報提供書・同意書	
情報提供日：令和 年 月 日	
ほっとライン事業所 _____ で、認知症支援リーダーの _____ です。	
◆下記の内容で、当事業所へ相談がありましたので、情報提供いたします。 ※本件は必要項目となります。	
相談日	令和 年 月 日 () : ~ :
相談場所	種 別 関係 電話番号
氏名	ふりがな 性別 生年月日 M・T・S 年 月 日
住所	住居 町番 電話番号
連絡先 (保身用)	氏名 性別 電話番号
【相談に関する主な項目】 ※関係する項目に○をしてください。(重複可)	
①医療に関すること ・ ②介護に関すること ・ ③住まいに関すること	
④生活に関すること ・ ⑤その他 ()	
【出ている事】	
※この相談について、大村市地域包括支援センターへ情報を提供することに同意します。	
令和 年 月 日	相談者名 () 関係 ()
※相談者の自署でお願ひします	

②電話後、様式2「認知症ほっとライン情報提供書・同意書」を FAXにて送信をお願いします。

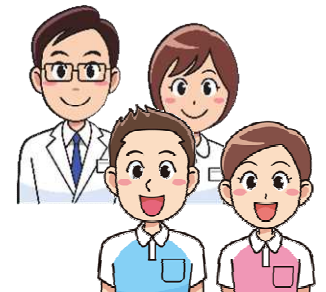
✓相談後すぐに、相談者が大村市地域包括支援センターに相談に来られる場合等は、本用紙を相談者へお渡しいただき、来所していただいてもよいです。



大村市地域包括支援センター
 FAX : 0957-53-8348



(4) 「大村市地域包括支援センター」は、情報提供を受けた後の対応について、“情報提供元”に可能な範囲での報告をいたします。



※ただし、土、日、祝日及び年末年始は、大村市地域包括支援センターの閉庁日となります。緊急対応が必要な場合以外は、平日のご連絡をお願いします。

大村市地域包括支援センター

認知症ほっとライン事業所

3 実績報告について

(1) 各認知症ほっとライン事業所で記載していただいた様式1「大村市認知症ほっとライン受付簿」を、「大村市地域包括支援センター」に年2回提出をお願いします。

<提出方法> 下記の日程及び方法で提出をお願いします。

- ① 1回目提出 → 毎年、4月1日～9月30日分の実績報告
提出期限: 毎年、10月10日まで提出
- ② 2回目提出 → 毎年、10月1日～3月31日分の実績報告
提出期限: 毎年、4月10日まで提出
- ③ ①②それぞれの期間の「大村市認知症ほっとライン受付簿」を、提出期限内に大村市地域包括支援センター指定のメールアドレスに送信をお願いします

E-mail : ninchishou@city.omura.nagasaki.jp
(担当: 寺島宛)

注) 今回、認知症ほっとライン事業所としての稼働は、令和5年2月開始としていますが、下記の内容で提出をお願いする予定です。

(2) 各認知症ほっとライン事業所から提出された「大村市認知症ほっとライン受付簿」は、大村市地域包括支援センターにて集計・分析し、令和4年度以降に「認知症ほっとライン事業」を実施する際に活用します。



様式1		大村市認知症ほっとライン受付簿					例		
令和3年度		事業所名【グループホーム□□□】							
No.	受付日	年代	性別	対象者との関係	その他の内容	受付形態	受付内容	事業所対応	包括への情報提供
1	4/10	70代	女性	その他	大家	来院(来所)	③住まいに関すること	あんしん相談ガイドブックを用い白紙を紹介	要
2	5/18	80代	男性	家族		電話	②介護に関すること	あんしん相談ガイドブックを用い介護保険申請について説明	不要
3	6/22	80代	男性	民生委員		来院(来所)	④生活に関すること	民生委員と近隣と事業所でしばらく見守ることとした	経過観察
4	7/25	60代	男性	家族		電話	①医療に関すること	あんしん相談ガイドブックを用い市内のサポート窓口を紹介	要
5	8/28	70代	女性	家族		来院(来所)	⑤その他	あんしん相談ガイドブックを渡す	不要
6	9/1	60代	女性	その他	上司	電話	①医療に関すること	あんしん相談ガイドブックを用い市内のサポート窓口を紹介	要
7	10/16	70代	男性	知人		訪問	④生活に関すること	あんしん相談ガイドブックを用い白紙を紹介	要
8	/								
9	/								
10	/								



認知症ほっとライン事業所



大村市地域包括支援センター

4 アンケートの実施について

注)今回、認知症ほっとライン事業所としての稼働は、令和5年2月開始としていますが、下記の内容で提出をお願いする予定です。

(1) 本事業について、下記のとおりアンケートを実施いたします。

①アンケートの日程及び方法について

アンケート配付日程 : 毎年、3月末に配付

アンケート配付方法 : 各認知症ほっとライン事業所指定のメールアドレスに送信



アンケート提出期限 : 毎年、4月10日まで

アンケート提出方法 : 大村市地域包括支援センター指定のメールアドレスに返信



②アンケートの集計について

✓ 「大村市地域包括支援センター」にて、アンケート集計・分析を行い、大村市地域包括支援センター運営協議会認知症部会や大村市認知症ほっとライン事業所等に報告します。



大村市地域包括支援センター
運営協議会認知症部会

認知症ほっとライン事業に
協力意向を示した事業所



次年度以降の
ほっとライン事業
に反映





大村市

【問合せ先】

〒856-0832 大村市本町 458 番地 2 プラットおおむら

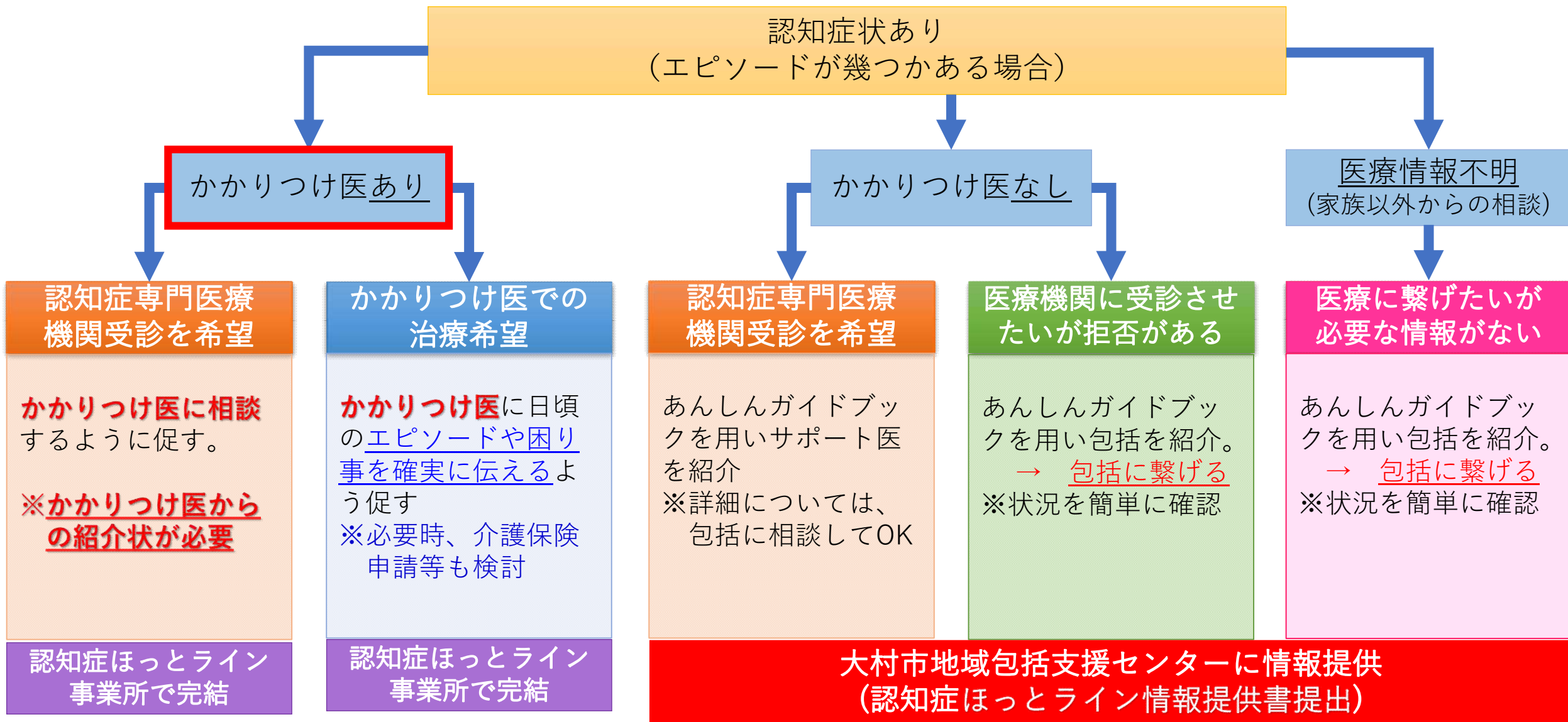
大村市地域包括支援センター

電話番号 : 0957-53-8141 FAX : 0957-53-8348

E-mail : ninchishou@city.omura.nagasaki.jp



認知症ほっとライン事業の流れ 【医療に関すること】



※状況にあわせ大村市地域包括支援センターに相談

認知症ほっとライン事業の流れ 【介護・生活に関すること】

認知症状あり
(エピソードが幾つかある場合)

短期記憶等に関すること

□ ほっとライン事業所のスタッフで認知症対応に関するアドバイスができる部分は行う

□ かかりつけ医に相談するよう促す

※状況により、かかりつけ医から紹介状記載してもらい専門医等の受診

□ 担当CMがいる場合、CMにも相談するように促す

※CMからかかりつけ医等に相談できることを伝える

認知症ほっとライン
事業所で完結

車の運転に関すること

□ あんしん相談ガイドブックを用い、運転免許試験場の「運転相談適性窓口」に相談できることを伝える

□ かかりつけ医に相談するよう促す

□ 担当CMがいる場合、CMにも相談するように促す

※CMからかかりつけ医や試験場等に相談できることを伝える

□ あんしん相談ガイドブックを用い 包括を紹介

認知症ほっとライン
事業所で完結

徘徊に関すること

□ 近隣の方々や民生委員に状況を伝えておき、有事の際は声掛けや連絡をしてもらうよう促す

□ 大村警察署や交番に事前に状況を伝えるよう促す

□ 担当CMがいる場合、CMにも相談するように促す

※CMからかかりつけ医等に相談できることを伝える

□ あんしん相談ガイドブックを用い 包括を紹介

・徘徊防止グッズ等紹介
・徘徊SOS登録の紹介他

大村市地域包括支援センターに情報提供
(認知症ほっとライン情報提供書提出)

BPSD等に関すること (周辺症状)

□ かかりつけ医に相談するよう促す

※状況により、かかりつけ医から紹介状記載してもらい専門医等の受診

□ 担当CMがいる場合、CMにも相談するように促す

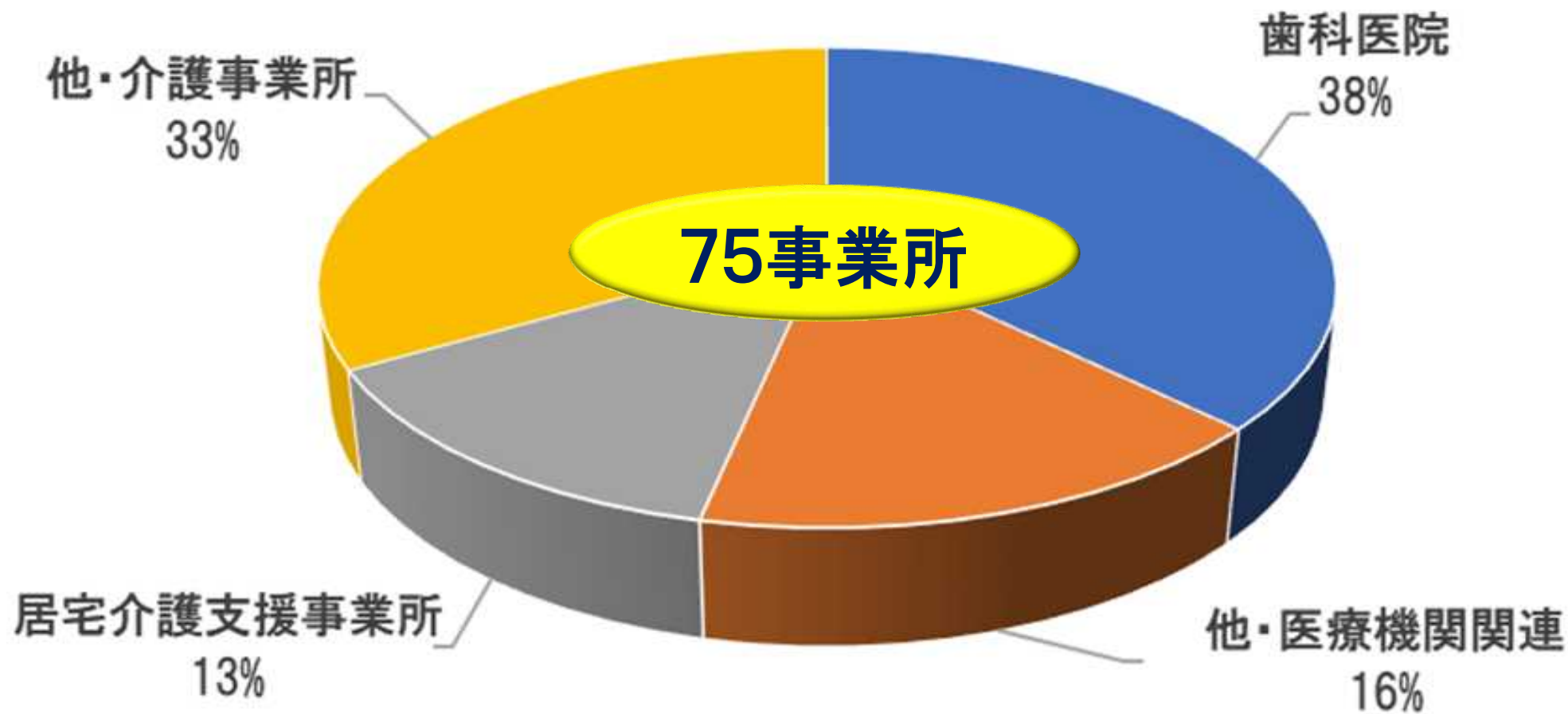
※CMからかかりつけ医等に相談できることを伝える

□ あんしん相談ガイドブックを用い 包括を紹介

※BPSDの症状により早期対応が望ましいので 早期に情報提供を！

※状況にあわせ大村市地域包括支援センターに相談

令和4年度認知症ほっとライン事業所の区分



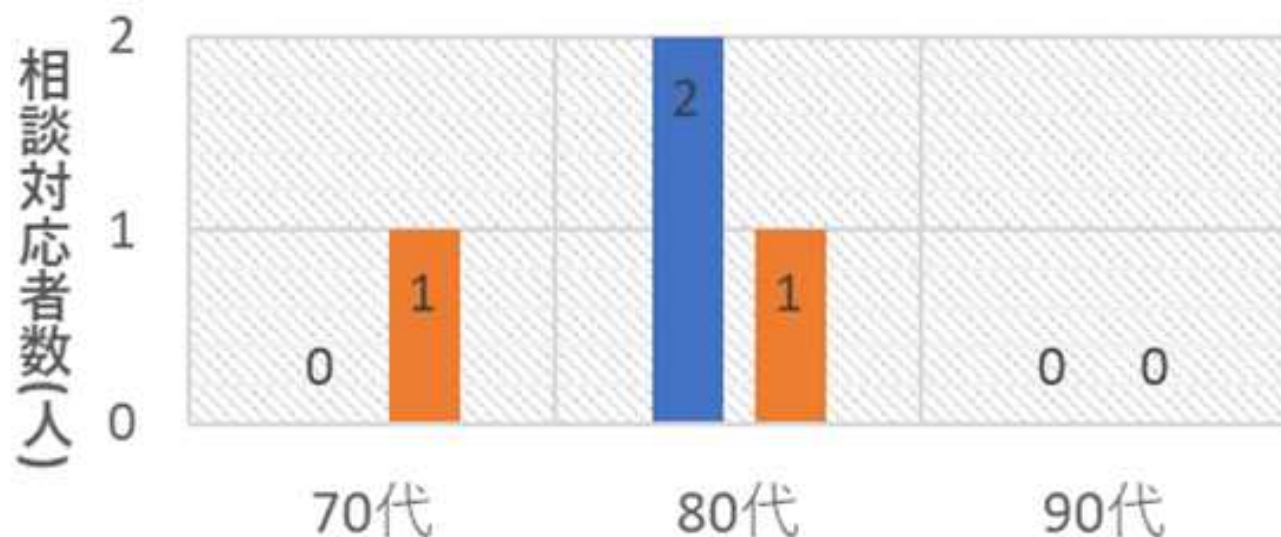
令和3年度認知症ほっとライン事業の実績

期間：令和3年9月1日～令和4年3月31日

対象者

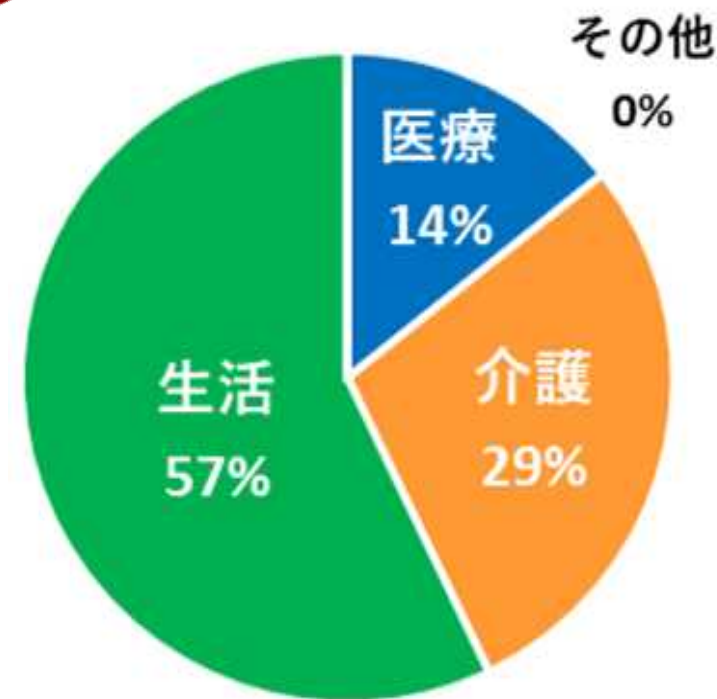
年代・性別

■ 男性 ■ 女性



対象者

相談受付内容区分

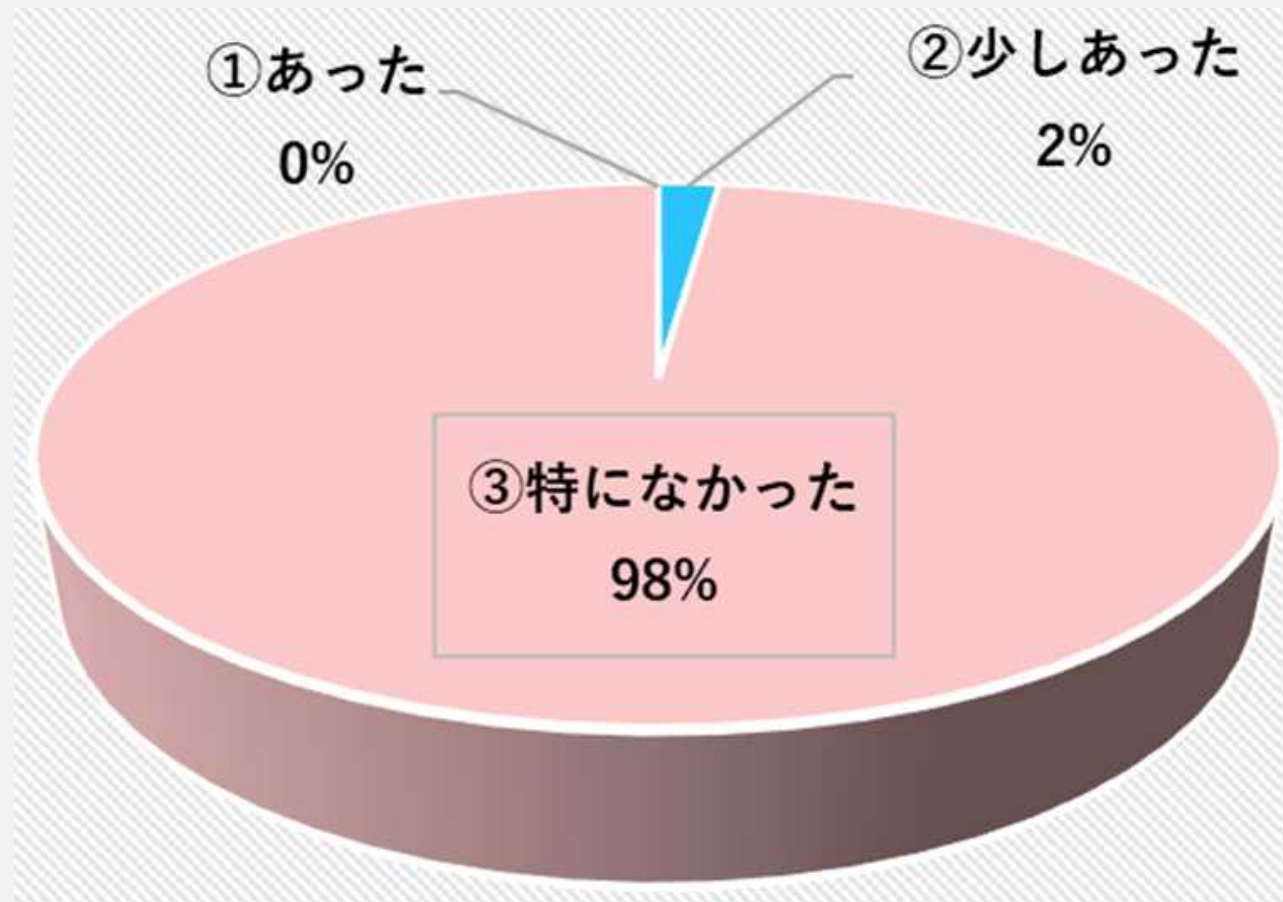


ほっとライン相談件数：4件／3事業所 → うち、3件包括へ情報提供あり

令和3年度認知症ほっとライン事業所へのアンケート結果

【問1】

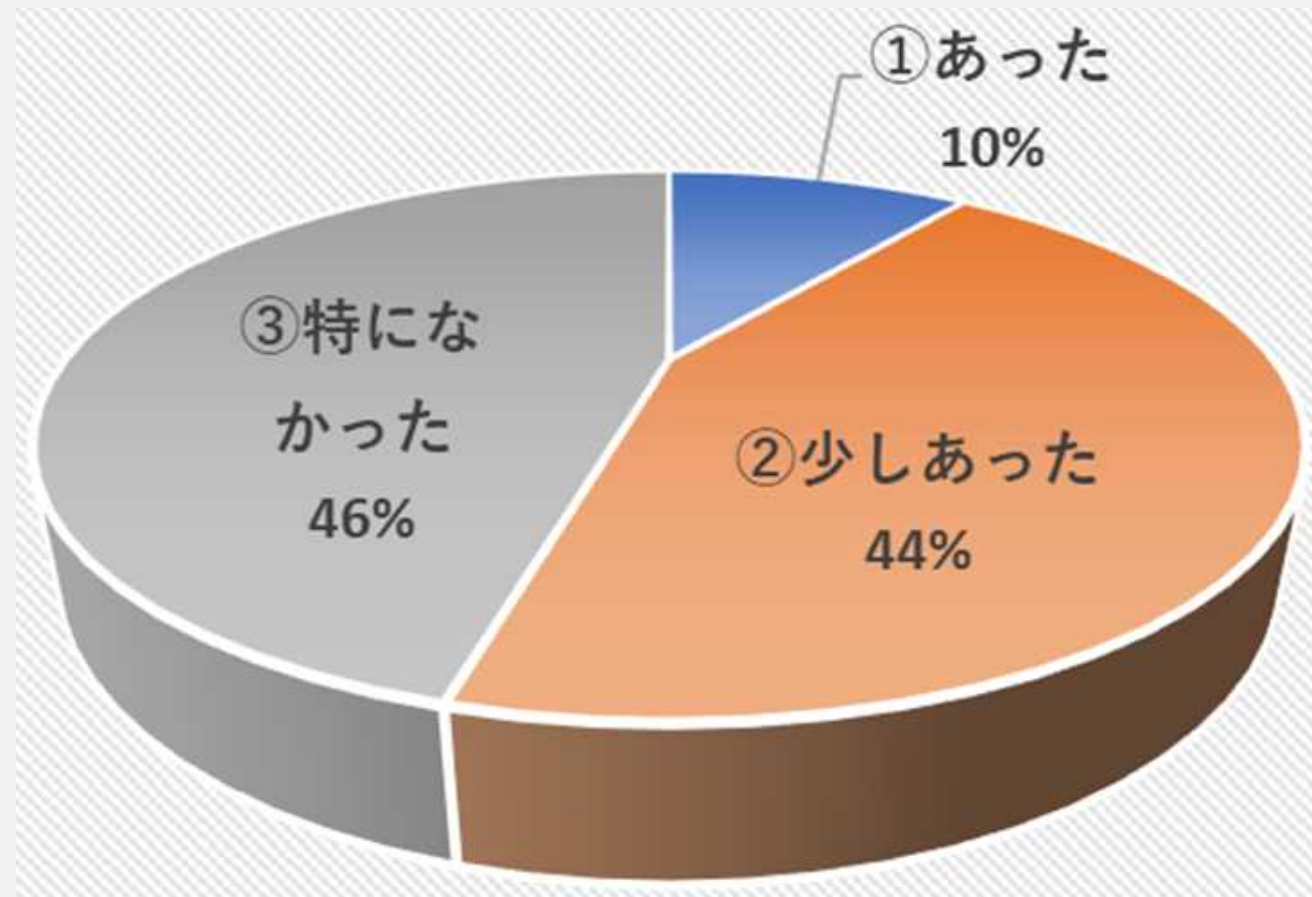
認知症ほっとライン事業所を開設したことで通常の業務への負担はありましたか



令和3年度認知症ほっとライン事業所へのアンケート結果

【問2】

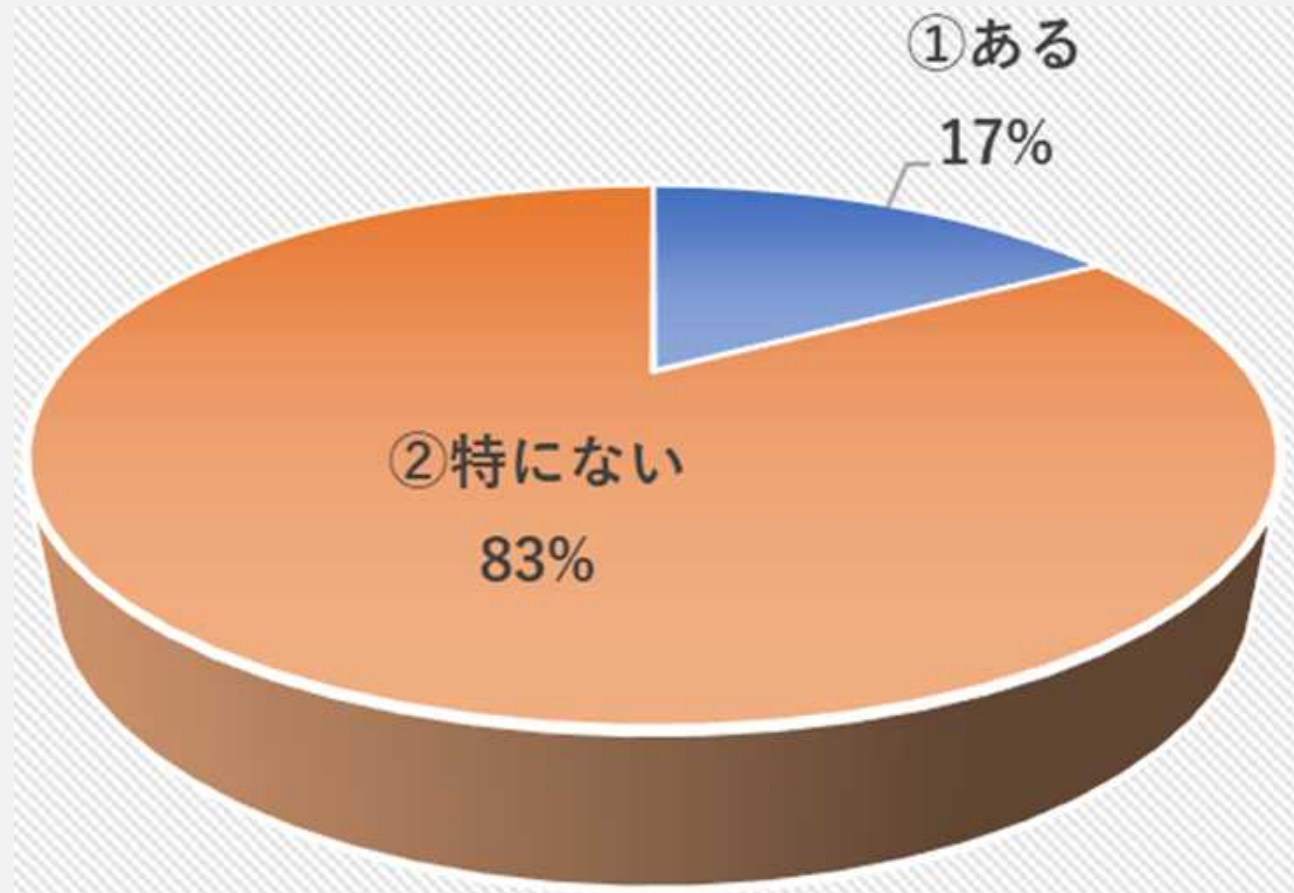
認知症ほっとライン事業所となり意識の変化はありましたか



令和3年度認知症ほっとライン事業所へのアンケート結果

【問3】

認知症ほっとライン事業所として工夫したことはありましたか



PRの一部

市facebook

ポスター

市デジタル案内板

市ホームページ





認知症ほっとライン事業への 申請方法と今後の流れ

<申請方法と今後の流れ> ~参画していただける場合~

「認知症ほっとライン事業参画申込書」に必要事項を記入後、FAXで大村市地域包括支援センターへ送信



後日、「認知症ほっとライン事業所」の証として、のぼり旗とポスター等が届きます



令和5年2月1日から「認知症ほっとライン事業所」として活動スタート！ ※年度毎で自動更新(取下げ希望時は辞任届提出)

地域で気軽に認知症相談ができる窓口を！

「地域の認知症に関する最初の相談窓口」

(身近な相談窓口)



認知症支援リーダー認定者が在籍する事業所に

「認知症ほっとライン事業所」

を担っていただきたい



認知症ほっとライン事業へのご協力よろしく申し上げます。



「認知症の人ができる限り
住みなれた地域で自分らしく
暮らし続けることができる大村市」



認知症ほっとライン事業へのご協力よろしく申し上げます！